

校長だより

兵庫県立伊川谷高等学校

September 15th, 2022

スクールポリシー策定に向けた教職員研修会を行いました

○9月14日(水)、スクールポリシー策定に向けた教職員による研修会を行いました。

○3～4名のグループをつくり、教職員それぞれが本校で育てたい生徒像や身につけさせたい力を具体的に考え、付箋に記入しました。さらにその付箋をフィッシュボーンの台紙に貼り付けました。

○出された意見を踏まえ、育てたい力、生徒像について、端的に表現してもらいました。

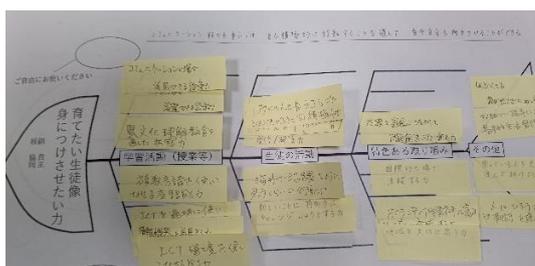
○その後、全体会を持ち、各グループで出された意見を発表してもらいました。

○「社会人基礎力を身につける」、「基礎学力の向上」など全生徒に等しく身につけさせたいミニマムの力の必要性を強調するグループとともに「コミュニケーション能力を身につけ、積極的に行動し、自らを向上させる」、「生きていく力」など、ミニマムな力とともにさらによりよく生きるための力を育てる必要性について発表したグループもありました。

○今回出された意見をもとにスクールポリシーの策定に向け、さらに校内での議論を深めていきたいと思えます。



本校生徒に身につけさせたい力を考える教職員



フィッシュボーンで育てたい力を見える化

3年生徒を対象としたリーガルサポート講座実施中

○9月12日(月)6限目に、3年生徒全員を対象に、司法書士、税理士、弁護士の計5名の講師をお招きし、生徒に「お金」、「働く」、「契約」、「SNS」、「少年事件」などをテーマにリーガルサポート講座を開きました。

○テーマごとに各クラスをローテーションさせ、5週間で計画された講座は、生徒の身近な問題を紹介し、トラブルの解決や未然に防ぐためのスキルを身につけてもらうことがねらいです。

○講座終了後の生徒の感想には、「SNSは送る前、載せる前にもう一度大丈夫か確認しないといけない」、「ブラック企業の意味や正社員、派遣、パート、アルバイト、契約社員の違いがわかった」、「納得いかない契約であれば、たとえ友達からの依頼であっても断る勇気を持つことが大切だ」といったものがありました。

○この日は、人権教育課より中山指導主事にご来校いただき、講座の様子を見ていただくとともに、生徒の学びを充実させるためのアドバイスをいただきました。

○アドバイスを受け、次回の講座に向けて、講師の方々が内容や伝え方をよりよく修正するために話し合われている姿が印象的でした。



「働く」をテーマとした講座の様子

コミュニケーション基礎「やさしい日本語」講座を行いました

○9月14日(水)、塩川雅美先生をお招きし、コミュニケーション基礎の授業の一環として「やさしい日本語」講座を行いました。

○「14時～」→「午後2時から」とした方が伝わりやすいなど、「やさしい日本語」は、多文化共生社会づくりに向け、日本語を母語としない方々とのコミュニケーションを円滑にすすめる上での大切な手段です。

○コミュニケーションをとる上で「何を伝えるか」とともに「どう伝えるか」さらに「相手に伝わっているのか、伝わっていないのか」に気を配ることの大切さについても考える貴重な機会となりました。